

笑顔をつなぐ広報紙

2014

広報

ひとよし

3/31

No.1007

施政方針号

希望を胸に
新しい道へ。



2月25日から3月24日まで開催された平成26年3月市議会
の冒頭で、田中市長が述べた施政方針をお知らせします。
※広報ひとよし掲載用に表現を一部変更しています。

2月、春の訪れに合わせ「人吉球磨は、ひなまつり」、「ひとよし春風マラソン」、「人吉梅まつり」と次々にイベントを開催し、市民の皆さまや市外のお客さまに人吉の早春をお楽しみいただくことができました。これから本格的な春の到来となりますが、3月に入ると卒業式の時期となり、市内の高等学校を皮切りに小・中学校で卒業式が執り行われます。卒業する子どもたちは、4月から就職、進学とそれぞれ新しい道に希望を持って進むことになりませんが、子どもを持つ家庭では、これまでの成長を喜び、また新たな門出に対し、今後親として期待と不安の中で温かく優しく見守る節目の時です。これまで市長として卒業式に出席するたび、希望を胸に抱き光り輝く子どもたちを前に、本市の将来を担う人材としてこれからの活躍を期待するとともに、今後も本市から社会に巣立つ子どもたちを大切に育てていくことが私たちに課せられた最も重要な責

務であることを強く決意してきましたところ
です。

これまでの子育てについての施策を振り返ると、その時々
の重要な課題、優先する施策について、市民の皆さまの声を聴き、職員と共に考え、議会の判断を仰ぎながら進めてきたところ
です。まず、学校教育環境の整備として、学校施設の安全性の確保のための耐震補強と大規模改修の実施、快適で効率的な授業を実施するため各教室への冷暖房設置、ICT教育の推進として教職員一人一台の校務用パソコン、児童生徒用のタブレットパソコン、電子黒板の設置などを行いました。学習機

会の充実についても、「放課後
パワーアップ教室」、「夏休み
みパワーアップ教室」、「人吉
市花まる教室」を開催し、多
くの児童が学力向上の機会と
して活用しているところ
です。また、いじめをはじめ児
童生徒が抱えるさまざまな問
題や悩み事の相談窓口とし
て、人吉っ子アドバイザーを
配置し、家庭児童相談員、保
健師、保護者、学校など関係
機関と連携し、問題解決に努
め、児童生徒が快適な学校生
活を送れるよう支援を行って
きたところ
です。

子ども・子育て基本条
例と子ども・子育て相
談員の配置

福祉・教育分野

次に、本市で育つ全ての子
どもたちが生き生きと輝き、
みんながそれを喜び合える人
吉を実現するために、「人吉
市子ども・子育て基本条例」
を提案し、昨年12月市議会
で認められました。これを受け、
1月29日に「第1回子ども・
子育て会議」を開催し、国の
「子ども・子育て支援法」と
本市の「子ども・子育て基本
条例」に基づき、平成27年度

から実施する「人吉市子ども・
子育て支援事業計画」の策定
に着手したところ
です。

子ども・子育て相談員につ
いては、4月から福祉事務所
に2人、教育委員会に1人を
配置する予定です。現在、福
祉事務所に配置している家庭
児童相談員を子ども・子育て
相談員とし、さらに1人増員
し子どもに対する虐待やいじ
めなどあらゆる相談に対し支
援を行います。教育委員会
では、4人の人吉っ子アドバイ
ザーと連携し相談事業に取り
組みます。それぞれに配置す
る相談員相互の情報交換をは
じめ保健師や関係機関などと
連携を深め、子どもたち自身
が抱える悩みや、子育てに悩
む方々の不安の解消に努める
など、子育てについての相談
体制の充実強化を行います。

子ども医療費の助成の
拡大

健康・福祉分野

また、子育て支援策の一つ
である健康保持に伴う医療費
助成については、マネフェス
トに掲げ、その実施について
厳しい財政状況と照らし合わ



人吉市花まる教室

せさまざまな検討を重ねてき
ましたが、このたび、助成対
象を引き上げ、人吉市乳幼児
医療費助成の条例の一部改正
を提案します。主な改正内容
は、助成対象をこれまでの小
学校就学前の幼児から中学3
年生までに拡大し、医療費自
己負担に対し助成を行うこと
で、子どもの健康保持と子育
て世代の経済的負担の軽減を
行うものです。なお、小・中
学生の医療費は、一定の自己
負担をいただきます。実施時
期は、周知期間などを考慮し
て、7月から予定している
ところ
です。



平成26年第1回 人吉市議会定例会

施政方針

市民みんなが健康で笑顔で暮らせるまちを目指して

国際交流関係ですが、本市の未来を担う青少年をグローバルな視野を持つ人材に育成することを目的として「『井正典』『青雲の志』『育成事業』」を、3月25日～30日の日程で実施します。本市の高校生7人をアメリカ合衆国ロスガトス、サンノゼへ派遣し、一井氏縁の地の訪問、サンノゼ州立大学の見学と入学ガイダンス、ロスガトス高校の生徒との交流と授業見学、シリコンバレー立地の企業視察など郷土の偉人一井氏の足跡と世界最先端技術に触れる海外体験研修を実施します。研修後は、高校などで報告会を実施し、研修先での見聞を広く伝えることで、参加者のみならずこれから発展する産業分野などで活躍することを目指す学生



米国サンノゼ州立大学



3月から運行を開始したくま川鉄道の「田園シンフォニー」

「青雲の志」を持つグローバルな人権を育成

国際交流関係

新型車両「田園シンフォニー」の運行開始

くま川鉄道関係

くま川鉄道関係ですが、車両リニューアルについて、1月に3両の納車があり、検査、試運転を経て、3月8日から新型車両「田園シンフォニー」として運行を開始します。また、3月15日からは観光列車としての運行も開始し、日中

は日本一心豊かなおもてなし観光列車として、スローな運行で車窓から人吉球磨の四季折々の風景をお楽しみいただけるものと思います。平成26年度には、残り2両の車両が更新される計画であり、計5両の新型車両「田園シンフォニー」が揃いますが、五楽章からなるベートーベンの「田園」さながら、そのレールの奏でる調べは郷愁を誘い、地域の皆さまはもちろん、この地を訪れた皆さまにも愛される鉄道として、より一層の利用促進が図られるものと期待しています。

続きまして、昨年10月にご逝去された名誉市民川上哲治さんの追悼関連事業ですが、3月23日に川上哲治記念球場で追悼記念式典を開催します。当日は、プロ野球界の発展と少年野球の振興に尽くされた川上さんのご遺徳で、少

川上哲治さんの功績をたたえて

名誉市民関係

2 川上哲治氏追悼関連事業

年野球教室や社会人硬式野球チームの記念試合を計画しています。多くの市民の皆さまに参加いただき、皆さまと共に川上氏の数々の功績をたたえしのびたいと思います。また、2月1日から3月30日までの期間、九日町のオリンピアスポーツ2階で「川上哲治氏追悼記念展」を開催しています。2月1日のオープニングセレモニーには、川上さんの甥である川上修治さん、人吉市まちづくり親善大使の末次利光さんなど関係者の皆さまに出席いただいたところでです。会場には栄光の背

番号16、77のユニホームや愛用のバット、グローブ、輝かしい成績にまつわるトロフィーなど貴重な品々や、少年時代から監督時代までの写真パネルの展示、映像コーナーを設けています。また、末次利光さんのコーナーも設け、現役時代の活躍を示す品々を展示しています。会場には多くの市民の皆さまをはじめ県外からもご来場いただき、「このような展示を人吉で見ることができるのは本当にうれしい。あらためて川上さんの偉大さ、野球に対する思いが伝わってきた」などの感想をい



川上哲治氏追悼記念展では、ユニホームなど貴重な品々を展示



田中市長と市民栄誉賞を受賞された植杉さん、妻・千枝子さん

ただいているところです。川上さんの功績については、今後も、さまざまな機会を通して顕彰事業に取り組み、その栄誉を故郷で高め、全国に発信していきたいと思います。

3 組織別・総務部関連

健康で笑顔あふれる市民栄誉賞を創設

市民栄誉賞関係

健康で笑顔あふれる市民栄誉賞ですが、このたび、候補

人吉球磨の地域振興の仕組みづくりに着手

定住自立圏構想関係

定住自立圏構想関係ですが、昨年3月、国の「定住自立圏構想推進要綱」の一部改正で、定住自立圏構想の中心市についての特例措置がなされ、本市も定住自立圏構想の中心市に該当することになりました。これを受け本市では、昨年から県の協力をいただき人吉球磨10市町村の枠組みで、この構想の具体的な運

者選考委員会の意見を聴き、植杉乾蔵さんを受賞者として決定しました。植杉さんは、昨年1月ゴルフ競技で自分の年齢以下のスコアを出すエーJシニートを千回達成し、日本記録として認定され、現在もその記録を更新されています。この記録は、植杉さんの日々のたゆまぬ努力と食事や生活面で健康管理を支える奥さまのまさに夫婦二人三脚での達成であり、そのお二人の姿に、多くの市民の皆さまが感銘を受け、生きがいを持ち健康で人生を楽しむことの大切さをあらためて教えていただいたと思います。

第6期介護保険事業計画・老人保健福祉計画策定に着手

介護保険関係ですが、平成26年度は、平成24年度から3年間を計画期間とする「人吉

介護保険関係

市民の健康づくりについてですが、昨年厚生労働省から発表された「平成22年市区町村別生命表」によると、本市の平均寿命は全国、県平均より短く、男性が県内ワースト3位、女性が県内ワースト2位となっています。65歳未満で亡くなる早世も、男性が県内ワースト2位で、いずれも生活習慣病が原因であると推察しています。

健康づくり関係

自らの健康は自ら守りみんな健康で暮らせるまちへ

市いきいき高齢プラン（第5期介護保険事業計画・老人保健福祉計画）の最終年度なので、介護予防や認知症対策など地域包括ケア推進のための施策を着実に実行していきます。併せて、平成27年度から始まる第6期介護保険事業計画・老人保健福祉計画を策定する年でもあるので、第5期計画の達成状況の点検・評価を行うとともに、人吉市介護保険事業計画等策定・運営委員会の意見をいただきながら新たな計画を策定していきたいと思っています。

自らの健康は自ら守りみんな健康で暮らせるまちへ

市いきいき高齢プラン（第5期介護保険事業計画・老人保健福祉計画）の最終年度なので、介護予防や認知症対策など地域包括ケア推進のための施策を着実に実行していきます。併せて、平成27年度から始まる第6期介護保険事業計画・老人保健福祉計画を策定する年でもあるので、第5期計画の達成状況の点検・評価を行うとともに、人吉市介護保険事業計画等策定・運営委員会の意見をいただきながら新たな計画を策定していきたいと思っています。

見守り体制整備と専門知識の養成

自殺者予防対策関係

市民相談関係ですが、人吉市消費生活センターでは、平成21年8月の開設以来、市民の皆さまのさまざまな消費生活相談を受け、その解決に向けて助言、指導を行ってきたと

さらなる市民相談業務の充実・強化

市民相談関係

4 組織別・市民部関連

ところです。しかし、近年の消費者トラブルを含む生活相談は複雑多岐にわたり、消費者被害を未然に防止する取り組みが急務となっています。本市としては、引き続き町内会や各種団体に対し出前講座を行い、注意、喚起をする

とともに、「消費生活センターだより」などの広報で必要な情報を発信し、消費者行政のさらなる充実強化を図っていきます。また、平成26年度から球磨郡9町村と消費生活相談業務

の協定を計画していて、今後は人吉球磨地域の消費生活相談の中核拠点とし、地域住民の暮らしの安心、安全に向けた取り組みを進めます。

町内会と連携したごみ減量対策へ

環境関係

環境関係ですが、平成25年の人吉球磨クリーンプラザへ搬入される市町村のごみ全体に占める本市の割合は、前年



人吉市消費生活センター



「人吉ごみを出しま宣言」宣言式

比0・84割の減となり、その結果、人吉球磨クリーンプラザの平成26年度負担金を113万7千3百円減額することができました。しかし、本市のごみ全体量は、事業系ごみが約141t減少するも家庭系ごみが約148t増加するなど、全体として微増しているところですが、

本市では、現在「人吉ごみを出しま宣言」の下にごみ減量リサイクルに取り組んでいますが、平成26年度は、その取り組みを加速し家庭系ごみを減量するため、財団法人自治総合センター助成金を活用して「ごみ減量見える化事業」を計画しています。この事業は、校区ごとに一つのモデル町内会を選び、行政と一体となつてさまざまなごみ減量方法に取り組むもので、その取り組みの中からごみ減量の有効な事例を検討していきます。市民の皆さまも、ごみ排出量の削減に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

5 組織別・健康福祉部関連

低所得者層に対する負担軽減策の実施

臨時福祉給付金関係

福祉関係ですが、4月からの消費税率引き上げに伴い、低所得者の負担軽減を図るため、国では税制抜本改革法に基づき暫定的で臨時的に「簡素な給付措置」が実施されます。

この措置を受け本市でも、国が示す基準に従い、市民税が課税されていない方を対象に、臨時福祉給付金を一人につき1万円、高齢基礎年金の受給者などには5千円を加え1万5千円を給付します。また、子育て世帯への影響緩和策として、臨時福祉給付金の対象でない方に対し、児童一人につき1万円を「子育て世帯臨時特例給付金」として給付します。この給付措置の実施については、今後、国が示す要綱などに従い、円滑に実施していきたいと思



検診車による市民健診



ゲートキーパー養成講座

6 組織別・経済部関連

強い農林水産業を目指して

農業関係

農業関係ですが、我が国の農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化、耕作放棄地の拡大などさまざまな課題があります。その対策として、このたび、国で「農林水産業・地域の活力創造プラン」が策定されました。このプランに

よると、農林水産業、農山漁村の潜在力を生かし、産業としての競争力を強化することで、若者たちが希望を持てる「強い農林水産業」と「美しく活力ある農山漁村」を創り上げるとして、平成26年度からの取組方針が示されています。

主な内容としては、一点目に、農地の有効利用の継続や農業経営の効率化を進める担い手への農地集積・集約化を加速させるため、4月から各都道府県に「農地中間管理機構」が整備されること。二点目に、今までの経営所得安定

対策を大幅に見直し、昭和46年から開始された米の生産調整を含む米政策が、生産数量目標の配分に頼らず需要に応じた主食用米生産を行えるよう工程を明らかにし、段階的に廃止されることになりました。農家の方々への周知は、2月28日の熊本県農業再生協議会主催の市町村への説明を受け、3月11日に開催されるJA・人吉市農家振興組合長合同会議で説明を行う予定です。その後も各町内の農家振興組合の会合などでの説明に努め、農家の方々へ周知を図っていききたいと思っています。

分収造林事業が終了

林務関係

農林整備関係ですが、本市と分収造林契約を結んでいる8つの分収造林組合のうち契約期間が終わっていた7組合について、平成25年度で立木の売り払いが全て終わりました。平成23年度から3カ年にかけて、総面積約123畧の立木の公売を行い、合計売払額6939万円のうち契約に基づき7割を分収配当金として分収造林組合に支払い、残

りの金額2081万7千円が市の収入になりました。伐採跡地は、今後市有林として随時植栽を進め、下刈、間伐などの保育事業を実施する計画です。

人吉らしい美しい街並みの復活に向けて

中心市街地関係

商工関係ですが、中心市街地の空き店舗解消と同時に進めている「城下町の風情」をコンセプトとする歴史ある美しい街並みの復活について、このたび、平成25年度に策定した人吉ブランドデザインによる日除けと暖簾を紺屋町の小売店舗にモデルケースとして設置しました。

本デザインは、今後の本市の街づくりのイメージをデザイン化したもので、街づくりの基本を具体的に示したガイドラインです。この通り周辺は、小売店や飲食店の方々も自ら日除けや暖簾を設置して、町屋風の佇まいが感じられ、人吉らしい街の再生につながるものと期待しています。

また、平成25年度は、人吉市商店街活性化事業補助金の



若者たちが希望を持てる農林水産業へ



立木の売り払いが終了した分収造林



紺屋町の店舗に設置した日除け

活用で、空き店舗への起業、開業も相次いでいます。日除けや暖簾を使った外観の修景も、この補助金制度を活用して、中心市街地の皆さまと連携を取り官民一体となって活性化を推進していきたいと思っています。

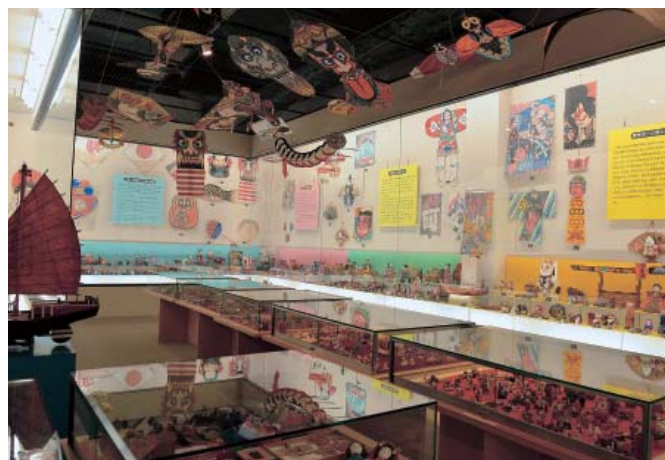
新たな雇用を創出する工業用地整備へ

中核工業用地

人吉中核工業用地は、昨年、工業用地内に一部残っていた民有地を取得しました。現在、実施設計を委託し、効果的な造成と整備の検討、開発行為申請手続きを進めています。工業用地の造成事業は、都市計画法の適用基準を満たす必要があるため、県との開発行為の事前協議を継続的に進め、新たな雇用の場を創出する工業用地の整備に向け取り組んでいるところです。本市を取り巻く地域経済は、いまだ厳しい状況ですが、さらなる企業誘致活動を展開するとともに、地場立地企業との情報交換と業況把握を定期的に行う中で、企業支援と地場産業の振興に努めます。



整備を進める人吉中核工業用地



今回で最後となる石野公園の土びなと郷土玩具展



今年もゴールデンウィークに開催される人吉お城まつり

女性に喜ばれるひなまつりを実施

人吉球磨は、ひなまつり

観光関係ですが、2月1日から人吉球磨に春の到来を告げる2カ月間のロングランイベント、ひとよし・くま旬夏秋冬キャンペーン実行委員会による「人吉球磨は、ひなまつり」を開催しています。九日町おひな通りで行ったオーピングでは、人間びなの三段飾りなどの趣向を凝らしたセレモニーを実施し、近隣で開催された人吉ふれあい

100円商店街や川上哲治氏追悼記念展のオーピングも相まって、会場周辺は大変なにぎわいでした。本年は、すべての女性に喜ばれるひなまつりをテーマに、ひなまつりの主役である女性限定のサービスを企画するなど、各会場でさまざまなおもてなしが実施されているところです。

一方、クラフトパーク石野公園では、3月1日・2日に、ひなまつりイベントを開催します。土びなと全国の郷土玩具の秋吉コレクションの展示は、今回で最後となりますが、これまで協力いただいた関係

者の皆さまのご厚意に心から感謝申し上げます。今後は、地元工芸家の紹介、企画展示を充実させたいと思います。

歴史と文化を生かした広域観光施策へ

観光広域化

3月になると、SL人吉の運行再開、くま川鉄道の新たな観光列車「田園シンフォニー」の運行開始など、春の行楽観光シーズンも本格化してきます。また、本年も、ゴールデンウィークの5月3日・

4日に日本百名城人吉お城まつりを開催することに決定し、郡市民をはじめ観光客の皆さまにも楽しんでいただける催しなどを準備しているところです。平成25年度は、人吉球磨の広域観光元年をうたい県や人吉球磨広域行政組合などと組織、事業の連携を図ってきましたが、平成26年度はさらに本地域の相良700年の歴史文化と地域資源を生かした具体的広域観光施策を軸に、滞留時間の延長などを目標に取り組んでいきたいと思っています。



補修工事に向け協議を進めている水ノ手橋

7 組織別・建設部関連

計画的な補修による道路管理の実施

道路・橋関係

土木関係ですが、社会資本整備総合交付金事業で平成25年7月から進めてきた市道上林中神線に架かる中原跨線橋上部工架替工事は、受託施工いただいた九州旅客鉄道株式会社のご尽力により、1月末に通行を再開することができました。通行止めの期間中、近隣町内をはじめ市民の皆さまには大変ご迷惑をおかけしましたが、皆さまのご理解とご協力により、2月末をもって工事が終わる見込みです。

また、大塚桑木津留線の落石防止対策と改築工事も、3月末の終了に向けて計画どおり進行しています。そのほか五日町田町線など13路線で、路面のひび割れや段差解消を目的とした舗装補修工事を行っています。

平成26年度は、社会資本整備総合交付金事業で水ノ手橋補修工事を計画していて、平成27年度の工事終了を目指し

て進めていきたいと思っています。水ノ手橋は架設後43年を経過し、詳細点検の結果、主桁コンクリートの剥がれや鉄筋の露出、支承と防護柵の腐食や損傷などが確認され、必要な対策を行うために、現在、補修工事に伴う関係機関との事前協議を行っています。

道路改良事業としては、交通量が多く通学路でもある下林北願成寺線の歩道や、生活関連道路である矢黒下戸越線ほか2路線の測量、設計を行っています。また、紺屋町東間線ほか11路線など、舗装の劣化が著しい路線も、舗装補修工事を行います。今後も、引き続き道路状況の把握に努め、道路の安全管理と円滑な通行の確保を図っていききたいと思います。

快適な居住環境整備

市営住宅関係

市営住宅関係ですが、現在、本市が管理する25団地のうち、平成23年度に策定した「公営住宅等長寿命化計画」に基づき、「修繕と改善」と判定した立野団地ほか16団地について、屋上防水改修や外壁改

修などの改善に取り組んでいくところとです。平成26年度は、前田団地屋上防水改修工事、鶴田団地外壁改修工事などを計画し、引き続き、快適で安全な居住環境の維持に努めていきたいと思っています。

住宅リフォーム補助を引き続き実施

住宅リフォーム促進

住宅リフォーム促進事業ですが、平成24年度から個人所有の既存住宅を対象に、機能維持、居住環境の整備と性能向上を図るための改修費用の一部を助成しています。平成25年度は、55件の申請があり昨年に続き予算額に達し、市民の皆さまに安全・安心で快適な居住環境づくりとして活用いただきました。また、平成25年度から助成金の一部を、きじ馬スタンプ協同組合加盟店で使用できる商品券として交付していますが、間接的に地域経済の活性化にも役立ち、平成26年度も引き続き商品券での助成を行っていききたいと思います。

戸建木造住宅耐震事業でも、個人の戸建木造住宅の耐震診断と改修に対し、継続し

て助成を進めていきたいと思っています。

下林願成寺線の計画的整備へ

街路事業

都市計画関係ですが、街路事業として、平成24年度に都市計画道路「下林願成寺線」の事業認可を受け、人吉インターチェンジから通称フルーティーロード交差点付近までの整備を行うこととし、平成25年度から用地取得に取り組んでいるところです。今後の計画としては、平成26年度も引き続き用地取得に努め、平成29年度～30年度に本体工事を始める予定ですが、一定区間の用地取得が早く終わった場合は、歩道などの工事を先行し、歩行者の安全通行を確保したいと思っています。

石野公園の施設整備を開始

公園事業

公園事業としては、平成24年度から国の補助事業である「都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業」で、村山公

園の公園施設の改築、更新を行ってきました。平成26年度からは、公園施設長寿命化対策支援事業で、石野公園の公園施設の改築と更新を進めていきたいと思います。

スマートインターチェンジ設置に向けてスマートインター関係

（仮称）人吉・球磨スマートインターチェンジ整備促進関係ですが、現在、整備実現に向け、国、西日本高速道路株式会社、県警察本部、関係機関と協議を行っているところです。設置箇所は、蟹作町周辺の国道219号線から直接乗り入れができる場所を候補としています。地形の高低差、家屋の建ち並び、鉄道の隣接などの諸問題も多く、さまざまな視点から慎重にルート案を検討しているところです。ルート決定後は、すぐに連結許可申請を進めていきたいと思います。



改築と更新を進める石野公園



改築と更新が終わった村山公園



計画的な整備が進む下林願成寺線



今後改修工事を進める鶴田団地



工事が終了した中原跨線橋

真摯に受け止め、人権教育と人権啓発の推進を目指し、努力していかねばならないと思います。多数の市民の皆さまに参加いただき、人権意識の機運がさらに高まることを強く願っているところです。

家族が走る、家族が応援する
ひとよし春風マラソン

2月16日に開催した「第11回ひとよし春風マラソン」には、全国各地からエントリーいただき、5924人の皆さまが早春の人吉を駆け抜けました。今回は、約4割近くの方が県外からの参加で、本市の観光振興や地域活性化にも大きく貢献できたものと思います。ランナーの皆さまには、ゴール後、地元食材を使った、つぼん汁や赤飯、ぜんざいなど郷土料理をご賞味いただき、また、力走の疲れを郡市内の各温泉施設で癒していただくなど、心温まる大会として開催できたと思います。今後、「家族が走る。家族が応援する」をテーマに、さらなる大会の充実を図っていきたいと思います。

大会開催に、ご協力いただいた多くのボランティアの皆さまをはじめ、沿道で温かい声援をいただいた市民の皆さま、協賛いただいた関係企業の方々に心からお礼を申し上げます。

再発防止に向けた取り組み
体育施設関係

昨年7月、人吉市弓道場遠的場で発生したアーチェリー事故関連ですが、人吉市弓道場遠的場事故防止対策委員会で、事故再発防止に向けた最終報告書が取りまとめられました。これを受け、安全対策の一つとして平成26年度、弓道場近の場周囲にフェンスを設置します。

また、今後の体育施設での事故防止対策などに関して審議するため、人吉市体育施設事故防止対策審議会設置条例を提案したところです。



ひとよし春風マラソンで一斉にスタートするハーフの部の参加者たち



安全対策を行う人吉市弓道場



ゴール後につぼん汁などを食べる参加者



沿道からの温かい声援とおもてなし

学校施設関係ですが、現在休校中の西瀬小学校鹿目分校、田野小学校、矢岳小学校は、地元校区の皆さまの承諾が得られたことから、3月末をもって廃校し、人吉市立学校設置条例の一部改正を提案することになりました。廃校

8 組織別・教育関係
役割を終えた3つの小学校へ感謝
学校施設関係

後の施設の取り扱いとしては、西瀬小学校鹿目分校は社会教育施設西瀬コミセン分館として、田野小学校は地元協議を継続、矢岳小学校は解体処理と、それぞれ異なる形での方向性を提案させていただいています。伝統と歴史ある3つの小学校を廃校にすることは、本市としても苦渋の選択であり、誠に忍びないですが、少子化など本市の学校教育を取り巻く環境をご理解いただきまますようお願い申し上げます。また、これまでそれぞれの小学校を温かく見守り続けていただいた卒業生の皆



施設の存続について今後も協議していく田野小学校

さま、地域の皆さまに心から感謝申し上げます。

学校施設の大規模改修については、平成25年度に人吉西小学校中学年棟の改修、東間小学校、大畑小学校、西瀬小学校の給水設備の全面改修を行い、校舎の老朽化、漏水などの不安が解消されたところです。また、人吉西小学校、東間小学校、中原小学校のプールも、国の経済再生対策事業を活用し改築工事を行い、3月末に完成する予定です。今回の改修で、以前にも増して児童に対し安全で快適な学習環境を提供できるものと思



解体処理が決まった矢岳小学校

ICT教育に温かいご支援
学校教育関係

学校教育関係ですが、このたび、市内の事業者から、学校で使用する生徒用のノートパソコン100台の寄贈申し出がありました。寄贈いただくノートパソコンは最新鋭の機種で、現在、中学校に配備しているタブレットパソコンがサポート切れを間近に控えていることから、中学校3校

社会教育関係ですが、10月18日・19日の2日間、人吉スポーツパレスをメイン会場として、「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす第43回熊本県人権教育研究大会人吉球磨大会」が開催されます。これまでこの研究大会に集まる学校教育、社会教育関係者が中心となり、部落解放・人権確立の教育の創造に努めてきたところですが、県内では、同和問題をはじめ女性、子ども、高齢者、障がい者の方々の人権に関するさまざまな問題が起きているのも事実です。また、近年はインターネット上の差別情報なども大きな社会問題となっていて、これらの事案を地域社会全体で

に配備することになっています。今回の整備に伴い、授業でのさまざまな疑問の調べ学習などに活用できるものとして大いに期待しています。今後も小・中学校のICT学習環境の整備と、これらを活用した学習の充実に力を注いでいきたいと思っています。

人吉市で人権教育研究大会が開催
人権教育関係



茂ヶ野水源地から流れ出るおいしい水



図書館まつりの読書感想画コンクール表彰式

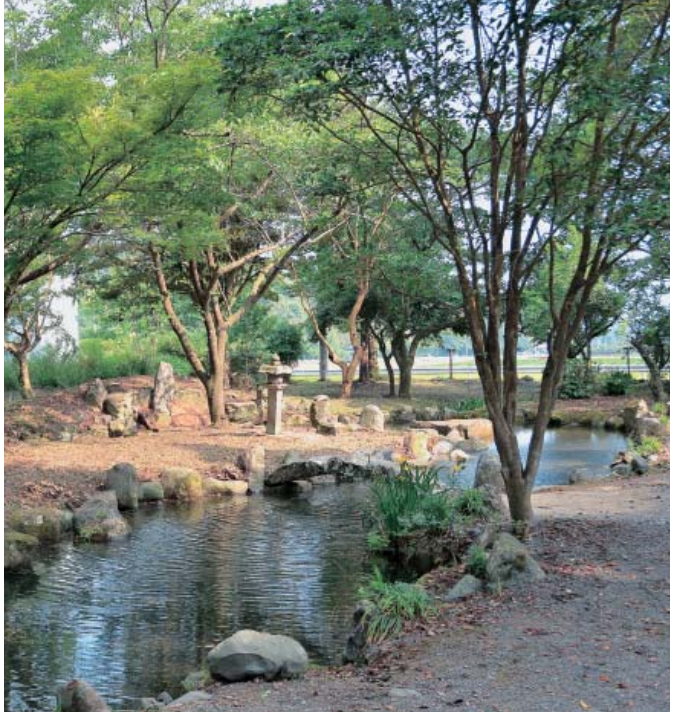
大手門跡南側の整備終了に向けて

文化財関係

文化財関係ですが、史跡入吉城跡の大手門跡南側整備事業については、石垣の保存と環境整備を図るため、平成24年度に発掘調査、石垣図面化、平成25年度に石垣修復工事、周辺整備の測量設計を行ってきました。平成26年度は、事業の最終年度として、石段や排水溝の復元、周辺部の土舗装、説明板設置などの整備工事を計画しています。

また、史跡大村横穴群の保存修理については、西群の民家背後の崖面を5つの区画にわけ、平成25年度から一区画ずつ岩盤安定化を図る保存修理工事を行って、平成26年度は、2つ目の区画の保存修理を始める計画です。

平成23年度から行っている「お庭御覧」ですが、平成26年度も日本を代表する作庭家野村勘治さんを講師に迎え、5月24日に市内に残る歴史的庭園の植栽の手入れ方法を学ぶ市民講座を開催し、翌日には、市内10カ所程度の名園を訪ねる庭園めぐりを計画しています。市民所有の庭園を活



井口八幡神社境内に残る歴史的庭園

用した周遊性のある庭園めぐりが観光資源として認知される中、今後も「人吉の宝物を探し出す」というコンセプトの下、お庭御覧の充実に努めていきたいと思っています。

くまもと子ども芸術祭を開催

文化振興関係

文化振興関係ですが、8月10日「くまもと子ども芸術祭2014 in 人吉」が人吉市カルチャーパレスで開催されます。この芸術祭は、次世代を

担う子どもたちを主体として、地域の芸術文化の活性化と継続発展を図ることを目的とし、県、県教育委員会、県文化協会、人吉文化協会と本市が共同で主催します。

大会のコンセプトを「700年の歴史に学び今を生きる！そして未来へ」とし、歴々と引き継がれてきた相良700年の歴史と文化を継承しつつ、現代の社会文化を取り入れ融合していく人吉らしさが表現できる芸術祭として開催できるよう関係機関と準備を進めていきたいと思っています。



施設の改修が進むカルチャーパレス

イベントを通じ読書のすばらしさを体験

図書館関係

図書館関係ですが、2月22日・23日に開催した図書館まつりでは、市内外から多くの皆さまの来館があり、人形劇、紙芝居の今昔展などさまざまなイベントを楽しんでいただきました。また、大畑駅での出来事を題材にした絵本「タカと幸おじさん」をテーマに開催した教養講座では、参加者から地域を題材とした絵本があることの驚きや、身近な

話題から絵本作りができるとへの興味などの感想を聞くことができ、参加者にとって有意義な講座だったと思います。今後も、郷土の資料の充実、地域のすばらしさを発信するとともに、書物や絵本、地域に伝わる物語を題材とし、幅広い年齢層まで楽しめるイベントを企画することで図書館に親しんでいただき、併せて読書のすばらしさを広めていきたいと思っています。

9 組織別・水道局関連

安くて清浄でおいしい水を提供

水道事業関係

水道事業関係ですが、現在「人吉市水道ビジョン」の事業計画に基づき、水道施設の整備、水道管路の耐震化と老朽管更新事業を行っています。平成26年度は、茂ヶ野水源地从原城配水池までの送水管改良工事について、蟹作町の約200区間の区間を行う計画です。そのほか、一般改良工事として老神町配水管改良工事、起債工事として永野

地区送水管改良工事を計画しています。

また、マニフェストに掲げている「県下の都市で一番水道料金が安く、おいしい水を供給し続けるための施設更新を行う」ことについては、現在、県下14市で最も安い水道料金となっています。しかし、水道料金収入は給水人口の減少や節水型電化製品の普及などで減少している現状です。今後も、人吉市水道ビジョンに沿った事業経営や施設更新を行うことで経営の安定化を図り、安くて清浄でおいしい水を提供できるよう努めていきます。

人吉市の現状に合った全体計画へ移行を検討

公共下水道関係

公共下水道関係ですが、昭和57年3月の供用開始以来、3月で32年を迎えることとなります。事業認可区域1029軒の整備については、ほぼ終了している状況で、現在、事業の重点を施設の維持管理へ移し、早期に敷設した管きよの長寿命化計画などに基き、主要施設の改築更新に努め、施設の機能維持や

浄化槽設置数増を引き続き目指す

浄化槽関係

次に浄化槽関係ですが、平成24年度からこれまでの国、県の補助制度に上乗せ補助を行い、浄化槽設置の普及促進を行っています。その効果もあり、平成25年度は平成23年度と比較し、設置基数が約1.8倍増加しています。平成26年度も引き続き普及促進を図り、家庭からの雑排水による汚濁物質の減少や住環境の改善と公共用水域の水質保全に努めていきたいと思っています。



広報ひとよし平成26年3月施政方針号

発行・編集 人吉市役所総務課秘書広報係

〒868-8601 熊本県人吉市麓町16番地

<http://www.city.hitoyoshi.lg.jp/>

✉ info@city.hitoyoshi.lg.jp

☎ (0966) 22-2111 FAX (0966) 24-7869

表紙：3月16日に行われた「着物ぶらり歩き」

今春、地元の高校を卒業したばかりの若者が卒業記念に舞妓さんと男衆にふんして街を練り歩きました。